

MORY

令和5年3月期 決算説明資料

令和5年6月7日

モリ工業株式会社



MORY INDUSTRIES, INC.

証券コード：5464

目次

1. 令和5年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	13
3. 令和6年3月期 連結業績予想	21
4. 株主還元	27
5. その他参考資料	29

令和5年3月期 連結決算概要

売上高

487億円

(前年度比 +13.1%)

営業利益

67億円

(前年度比 +18.5%)

経常利益

71億円

(前年度比 +16.7%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

52億円

(前年度比 +22.5%)



令和5年3月期 連結決算概要

売上高
営業利益率

13.8%

(前年度比 +0.6%)

総資産
経常利益率

11.2%

(前年度比 +0.8%)

自己資本比率

77.1%

(前年度比 +3.1%)

自己資本利益率
【ROE】

10.9%

(前年度比 +1.2%)

令和5年3月期 決算のポイント



販売数量の減少、製品価格の上昇

- ・ 材料価格は高値圏で推移。材料価格の上昇に伴い製品価格への転嫁を段階的に進める。
- ・ 製品価格が高値で留まったため買い控えや在庫調整等の動きもあり、販売数量は低迷。



過去最高益

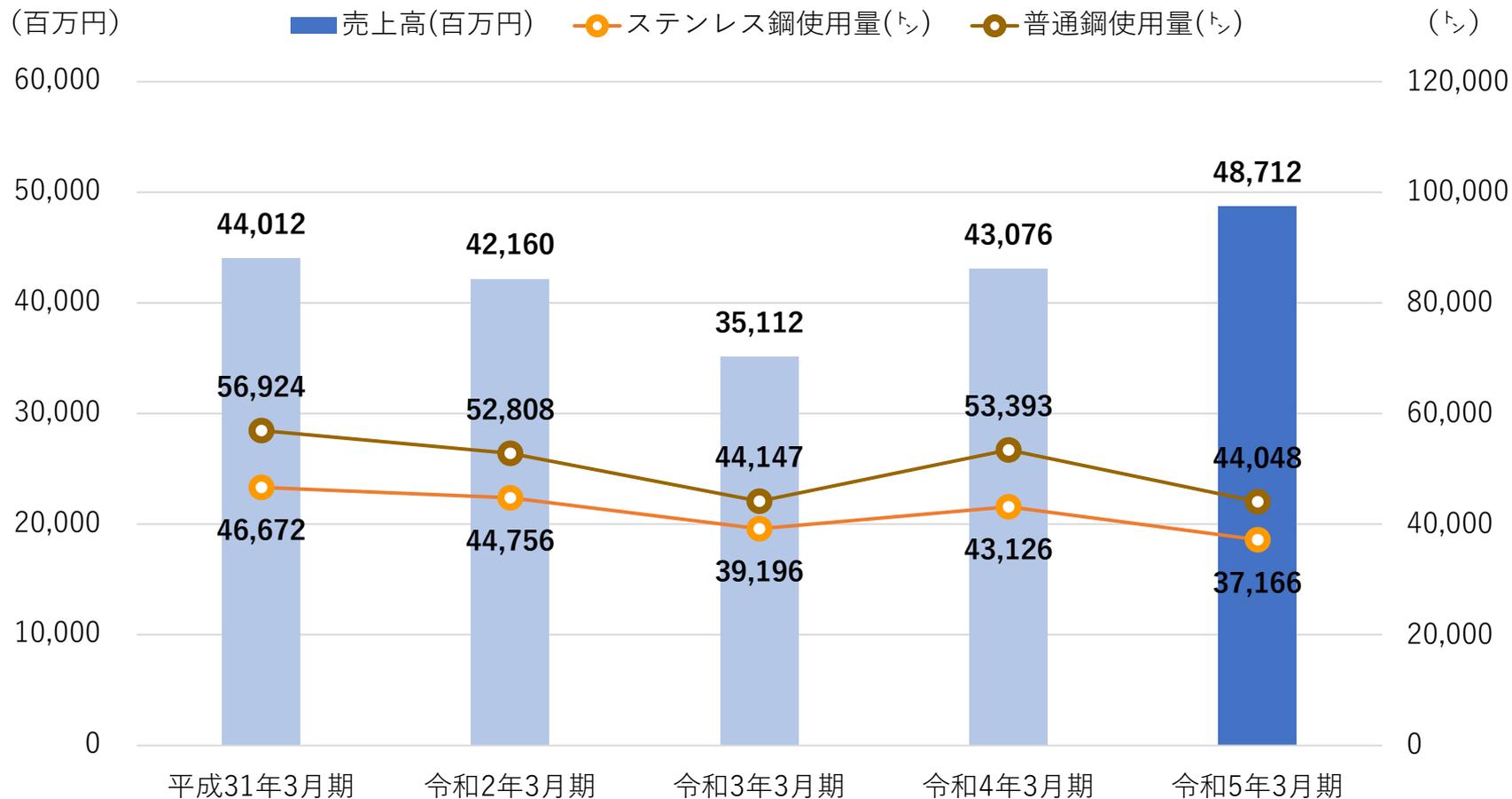
- ・ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年の令和4年3月期を上回り、それぞれ過去最高利益に。



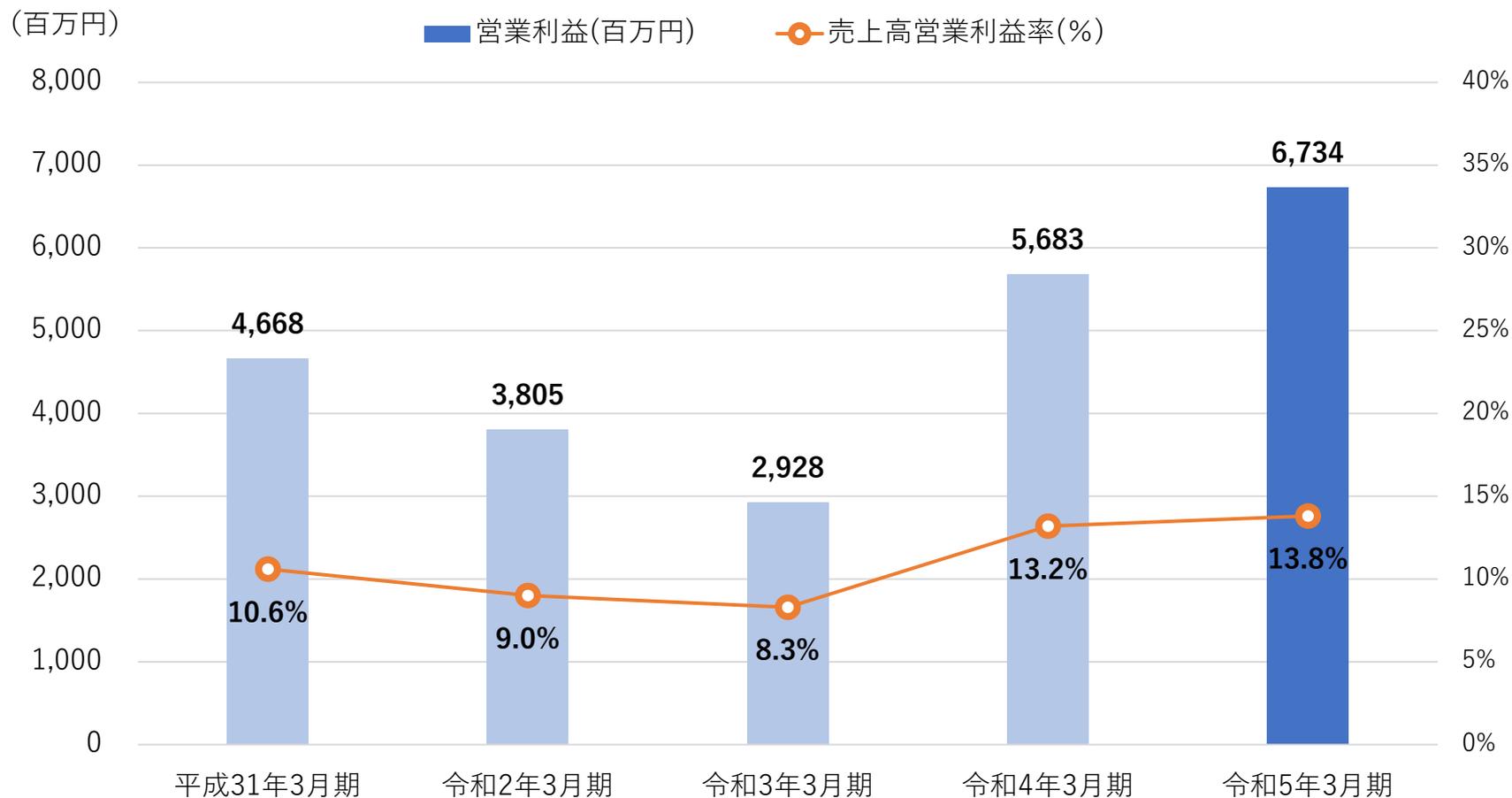
利益率は高水準

- ・ 販売価格と材料価格のスプレッドが確保できたため、利益率は向上。

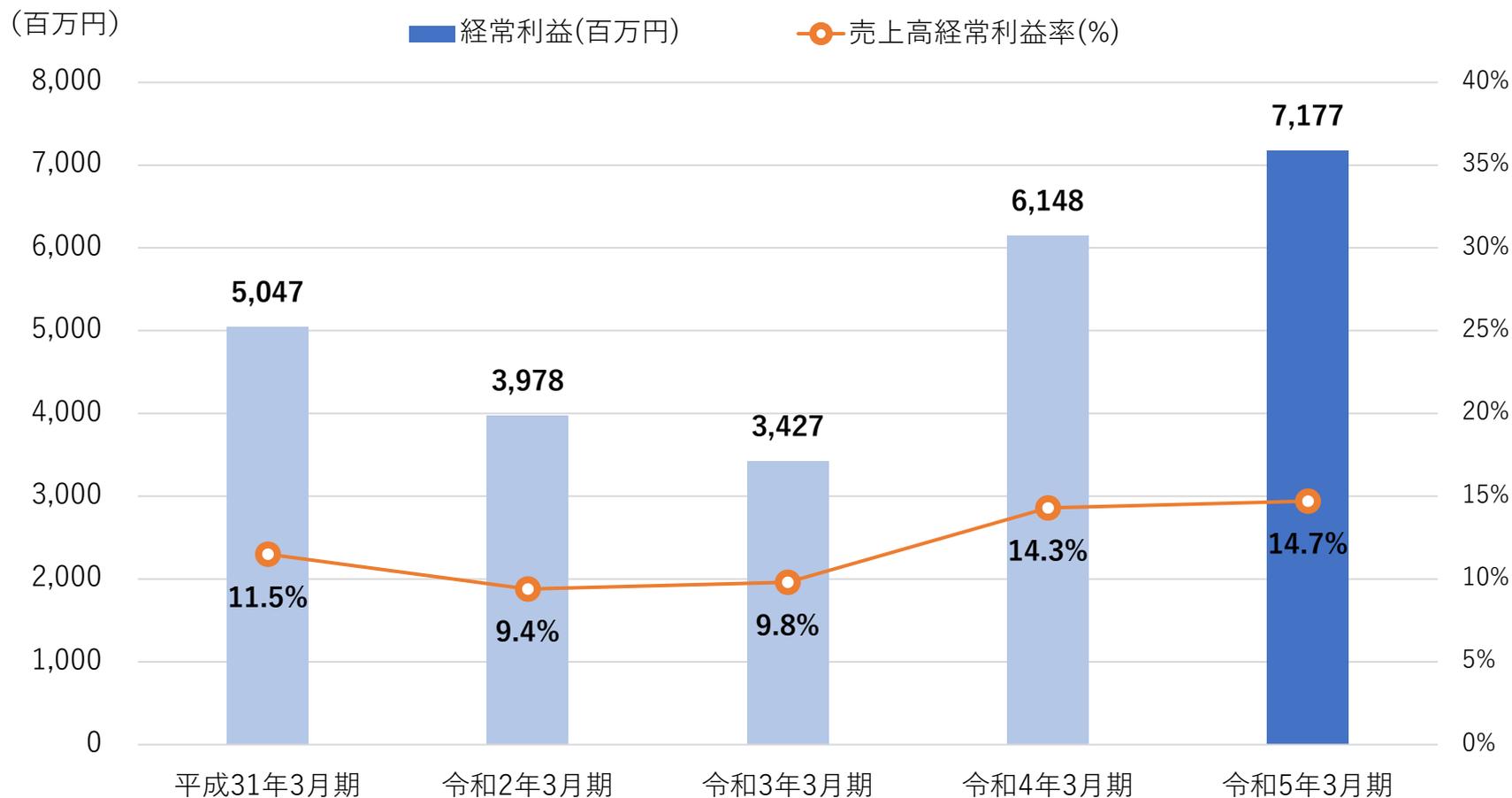
連結売上高の推移



営業利益の推移

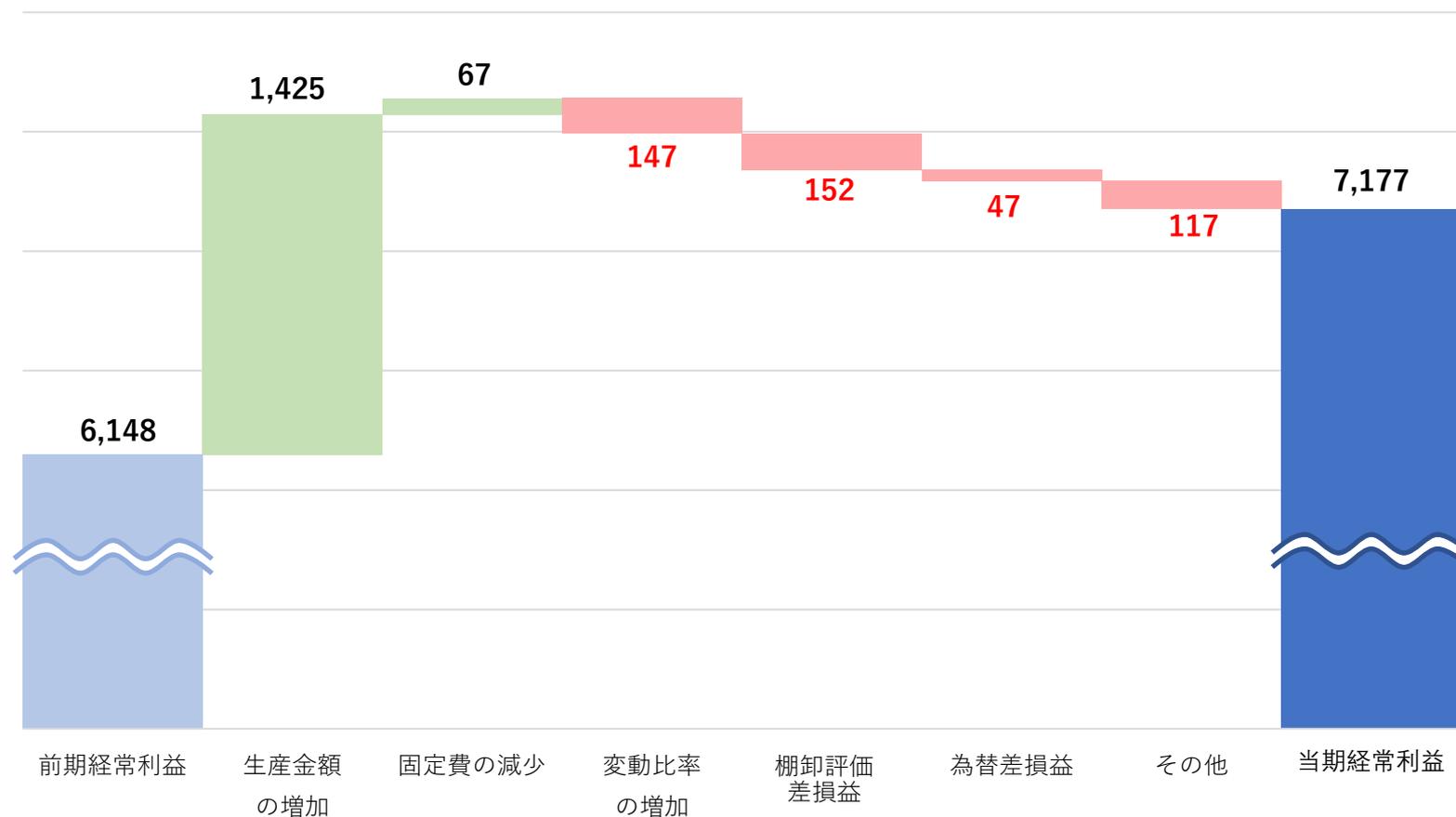


経常利益の推移



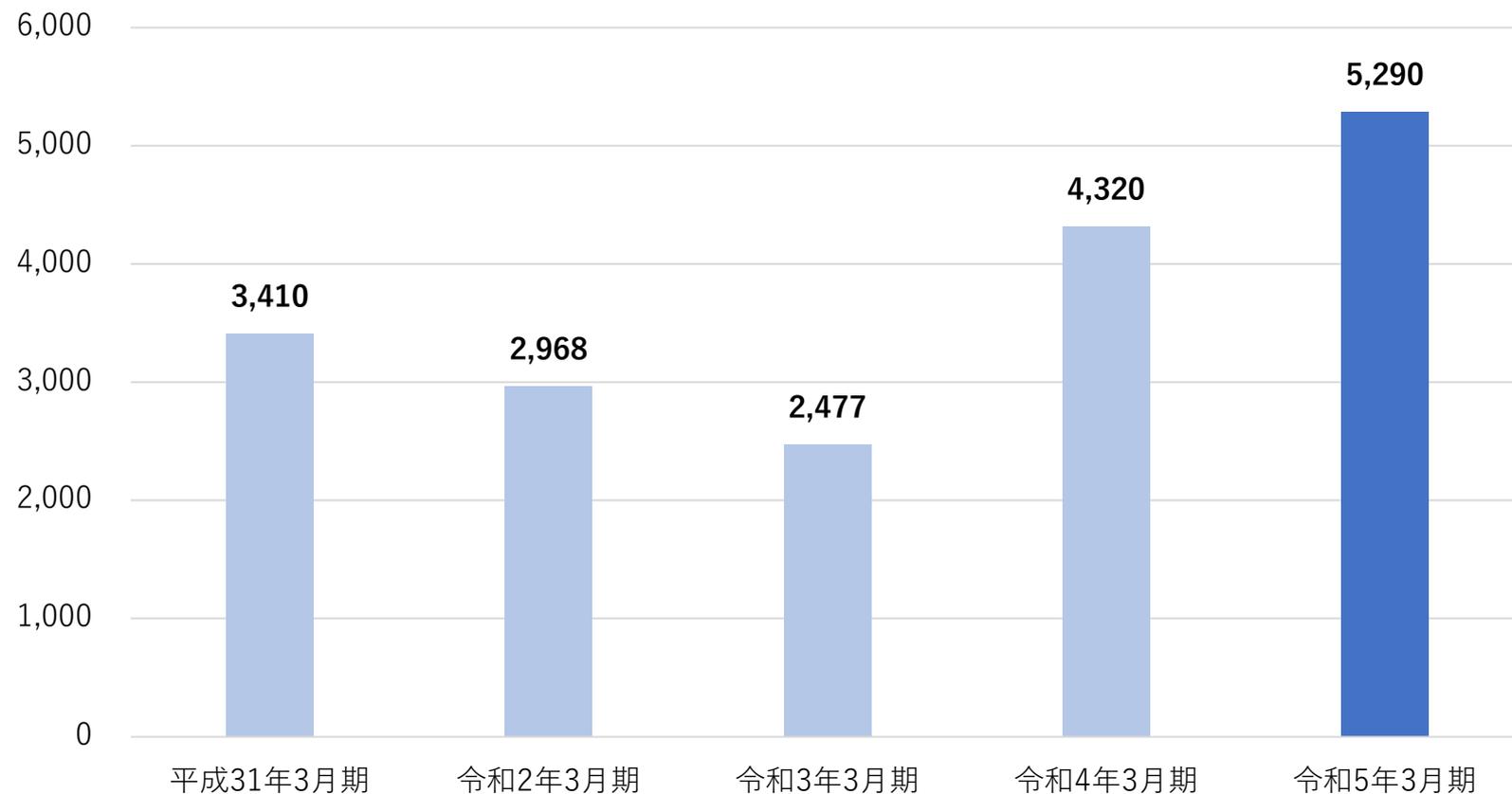
当期の経常利益増減要因（前期対比）

（単位：百万円）

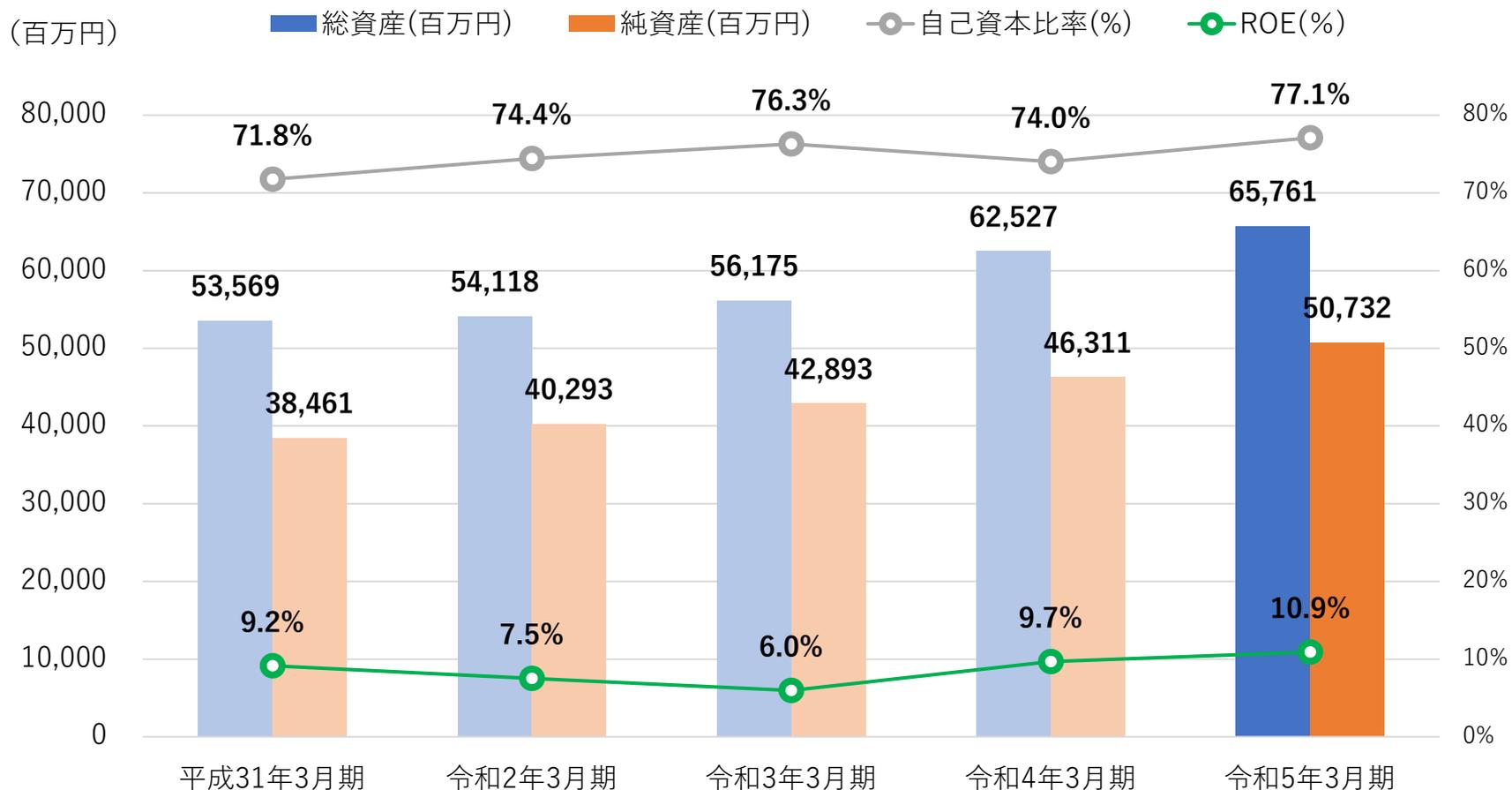


親会社株主に帰属する純利益の推移

(百万円)



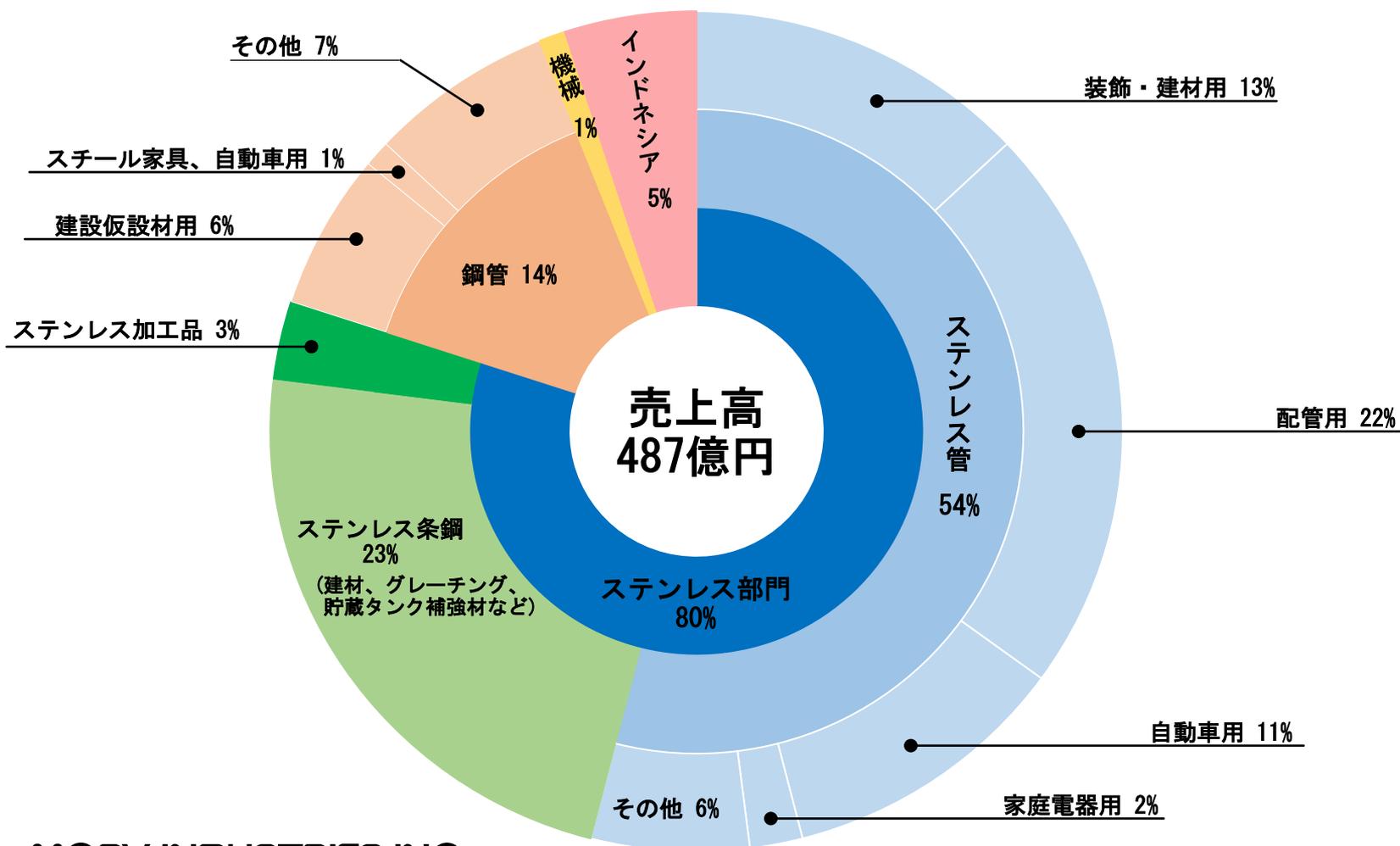
総資産、純資産、自己資本比率、ROE



目次

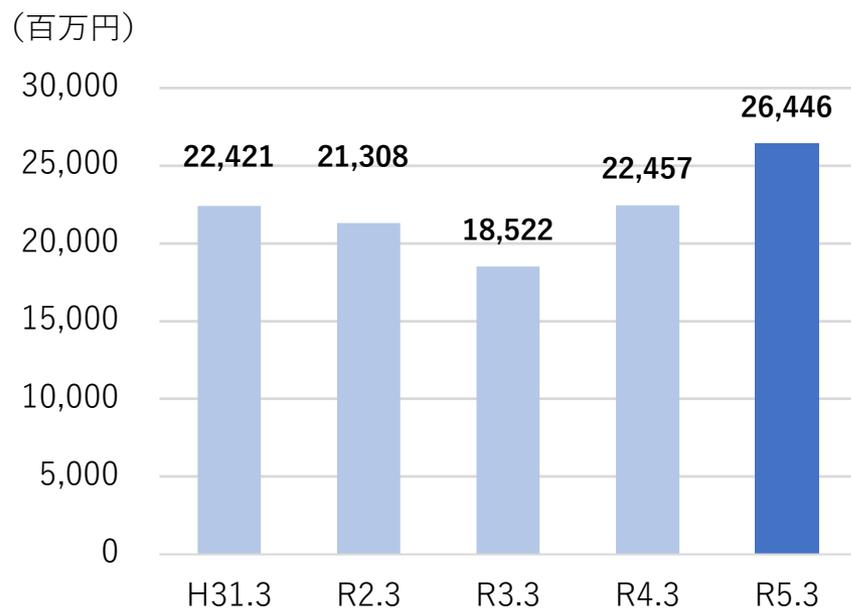
1. 令和5年3月期 連結決算概要	3
<u>2. セグメント・製品部門別の売上高</u>	<u>13</u>
3. 令和6年3月期 連結業績予想	21
4. 株主還元	27
5. その他参考資料	29

令和5年3月期 連結売上構成比率



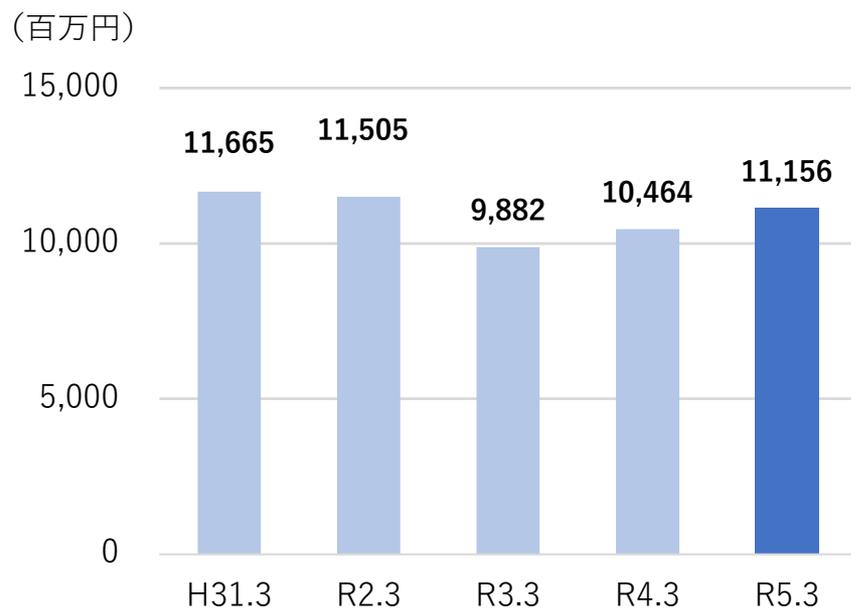
製品部門売上高（ステンレス管）

- ・ 配管用は数量が減少したが、製品価格が上昇
- ・ 自動車用は数量、製品価格ともに上昇



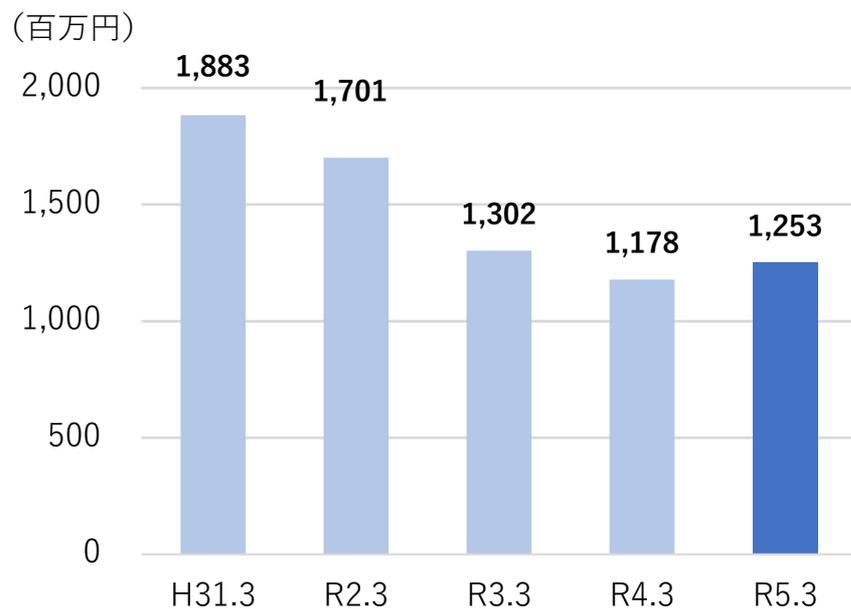
製品部門売上高（ステンレス条鋼）

- 数量が減少したが、製品価格が上昇



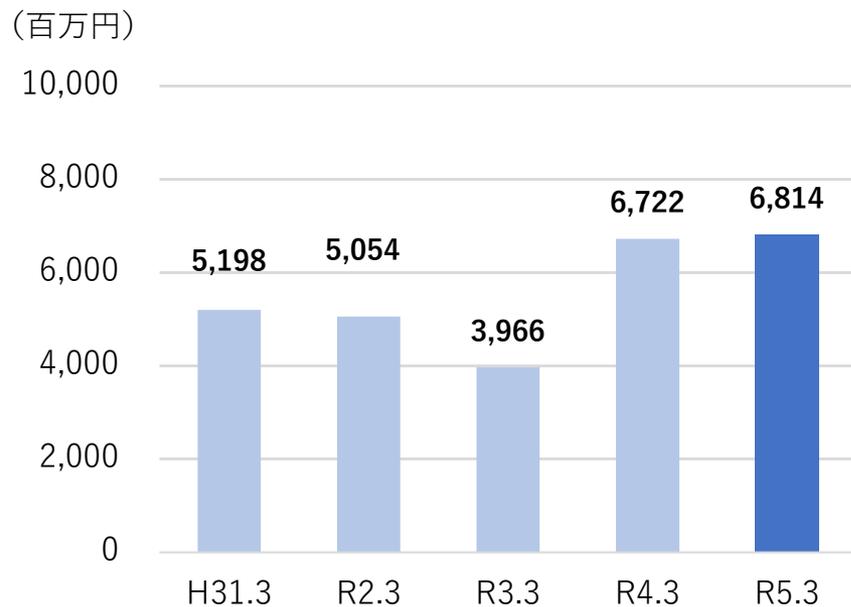
製品部門売上高（ステンレス加工品）

- ・ 家庭用金物製品については令和4年9月に販売が全て終了
- ・ 給湯器用フレキ管が売上を伸ばす



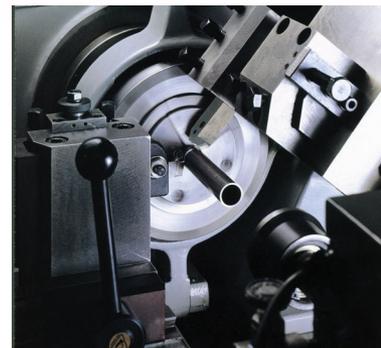
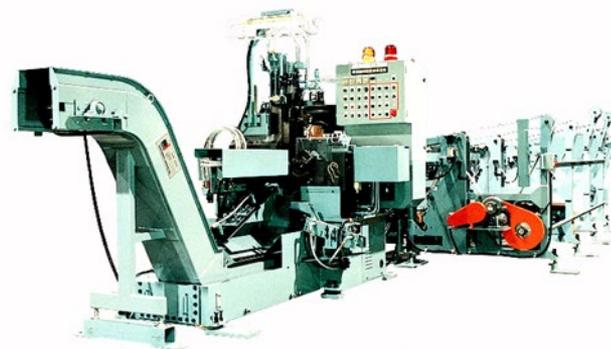
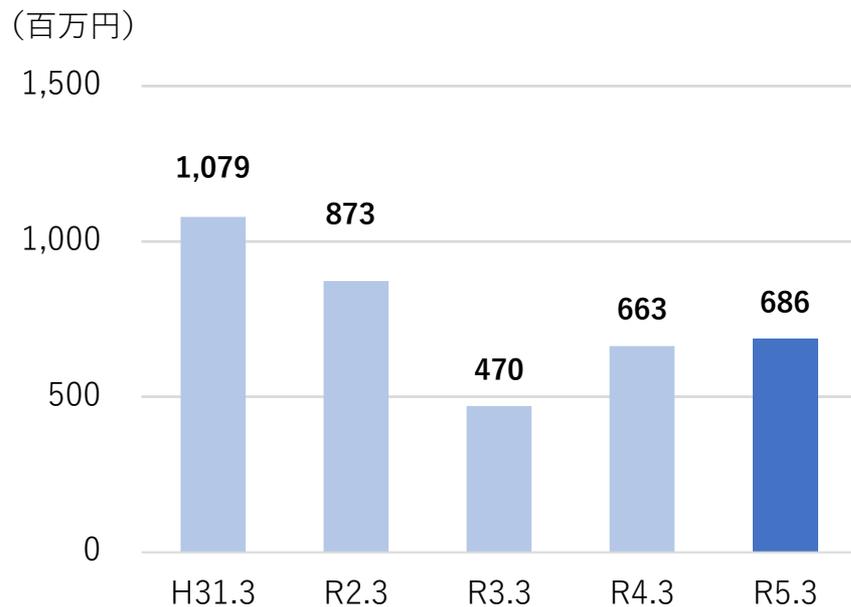
製品部門売上高（鋼管）

- ・ 建設仮設材用は数量減少、スチール家具用が数量増加
- ・ 製品価格上昇



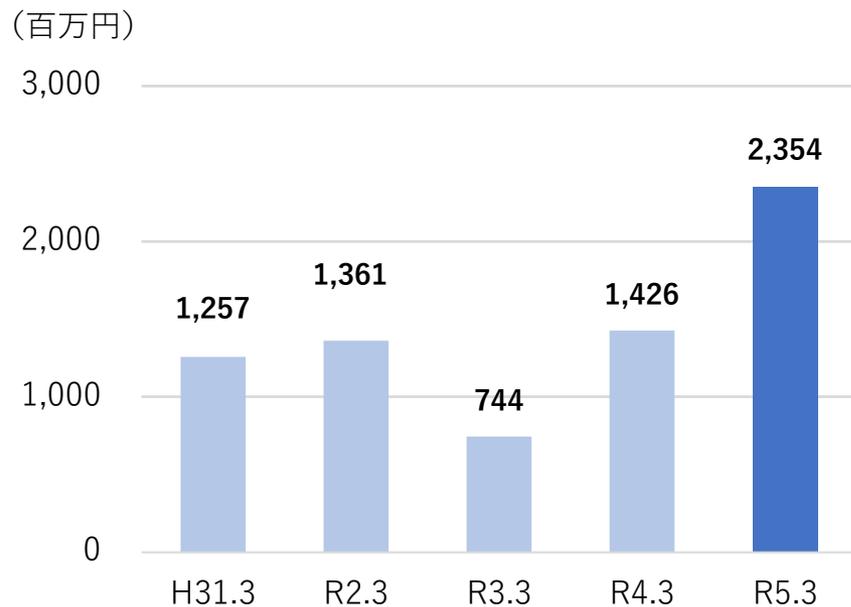
製品部門売上高（機械）

- 取引先の投資意欲が戻りつつある



インドネシア

- ・ 二輪車向けが一時減少したが8月以降回復、最終的には販売数量増加
- ・ 四輪車メーカーの新車投入効果もあり、四輪車向けの数量は大幅増加



目次

1. 令和5年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	13
<u>3. 令和6年3月期 連結業績予想</u>	<u>21</u>
4. 株主還元	27
5. その他参考資料	29

令和6年3月期 連結業績予想

売上高

450億円

(前年度比 Δ 7.6%)

営業利益

45億円

(前年度比 Δ 33.2%)

経常利益

48億円

(前年度比 Δ 33.1%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

34億円

(前年度比 Δ 35.7%)



令和6年3月期 業績予想のポイント



環境

- ・海外では、ウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレ、金利上昇による景気減速。
- ・国内では、新型コロナウイルスの5類への変更に伴い、経済活動の回復が期待される。エネルギー価格の高騰及び物価上昇による個人消費の落ち込みが予想される。



売上

- ・販売数量は、高値圏での買い控えや在庫調整の動きが継続し、コロナ禍前の水準には回復せず、前年と同程度で推移すると予想。
- ・材料価格の低下に伴い、販売価格も若干低下すると予想。



利益

- ・材料価格の低下局面における期首在庫の払出しによる原価率の上昇や副資材、電気料金等のコストアップにより、減益を予想。

令和6年3月期 重点取組テーマ



配管の生産能力強化

- ・河内長野工場のレイアウト変更を完了させ、主力事業の配管の生産能力、納期対応力を更にアップさせる。



パイプ切断能力の強化

- ・少子高齢化により取引先の切断対応に限界が予想される。社内の切断能力を強化し、製品の高付加価値化、商圏の安定化を確保する。



技術のチャレンジ

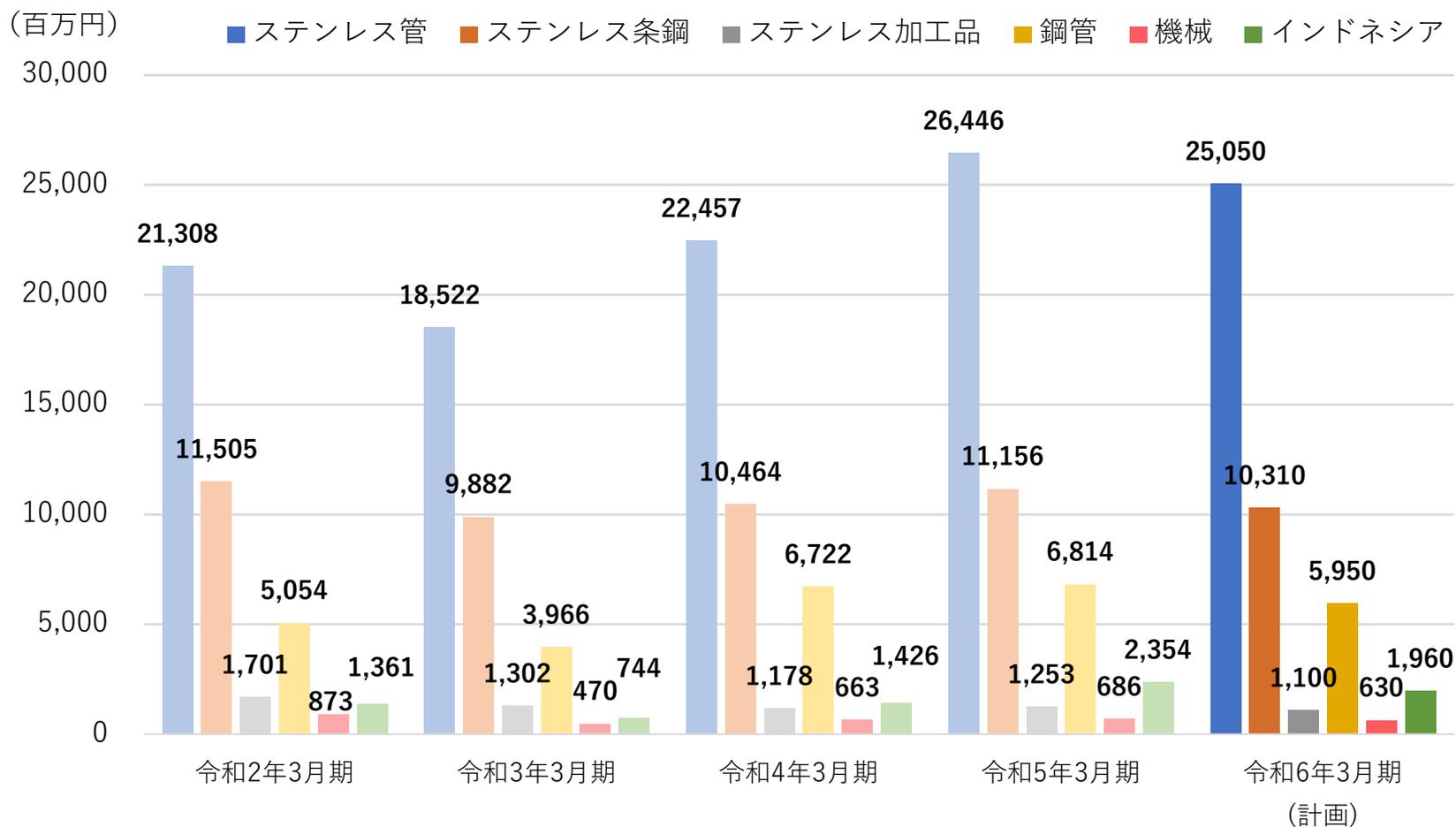
- ・他社でできない溶接方法、サイズ等にチャレンジし、常に技術を向上させ続ける。
- ・AIを活用した生産能力の向上。



営業のIT化推進

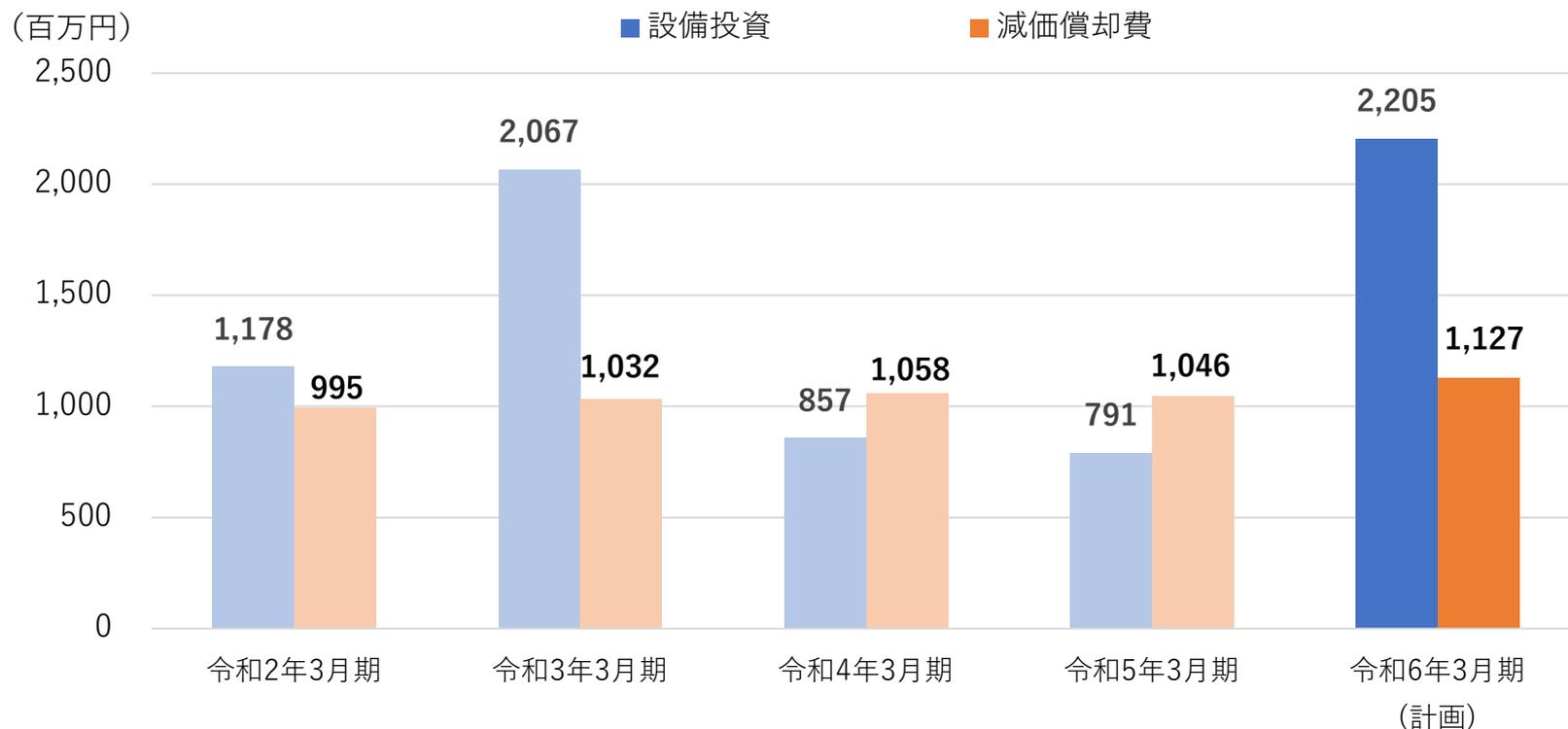
- ・Webを活用した営業ツールの更なる進化。

セグメント別売上実績と計画



設備投資・減価償却費の実績と計画

- 令和6年3月期の設備投資の主なものは、ステンレス管製造設備の更新、改修、また環境対応として洗浄装置の更新も見込んでいる。一部、部品の入手の遅延が予想され、前倒し手配のため計画が増額となっている。



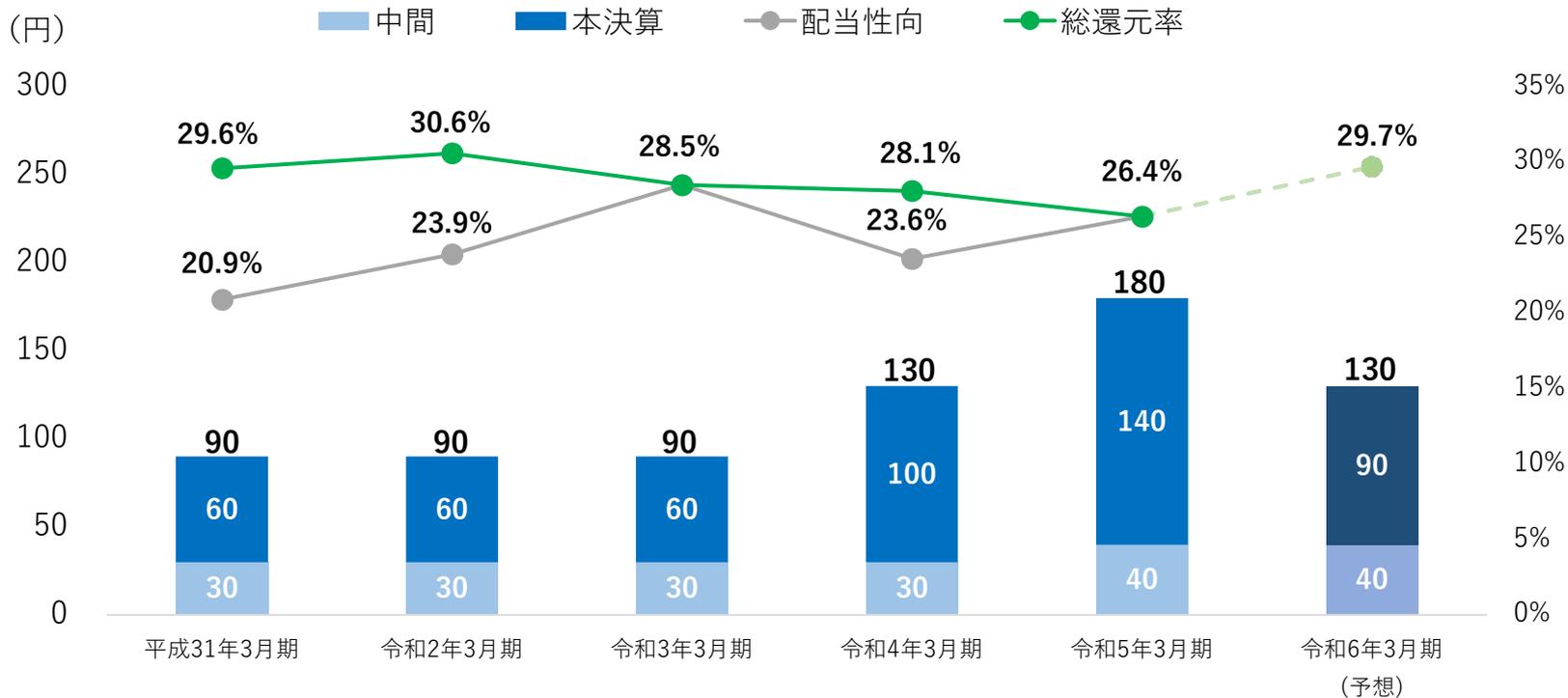
※有形固定資産のみの金額を記載

目次

1. 令和5年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	13
3. 令和6年3月期 連結業績予想	21
<u>4. 株主還元</u>	<u>27</u>
5. その他参考資料	29

株主還元実績と予想

- 株主還元につきましては、当面の間は実質無借金会社を維持し、総還元率（自社株買いと配当の合計が親会社株主に帰属する当期純利益に占める割合）を30%程度としています。

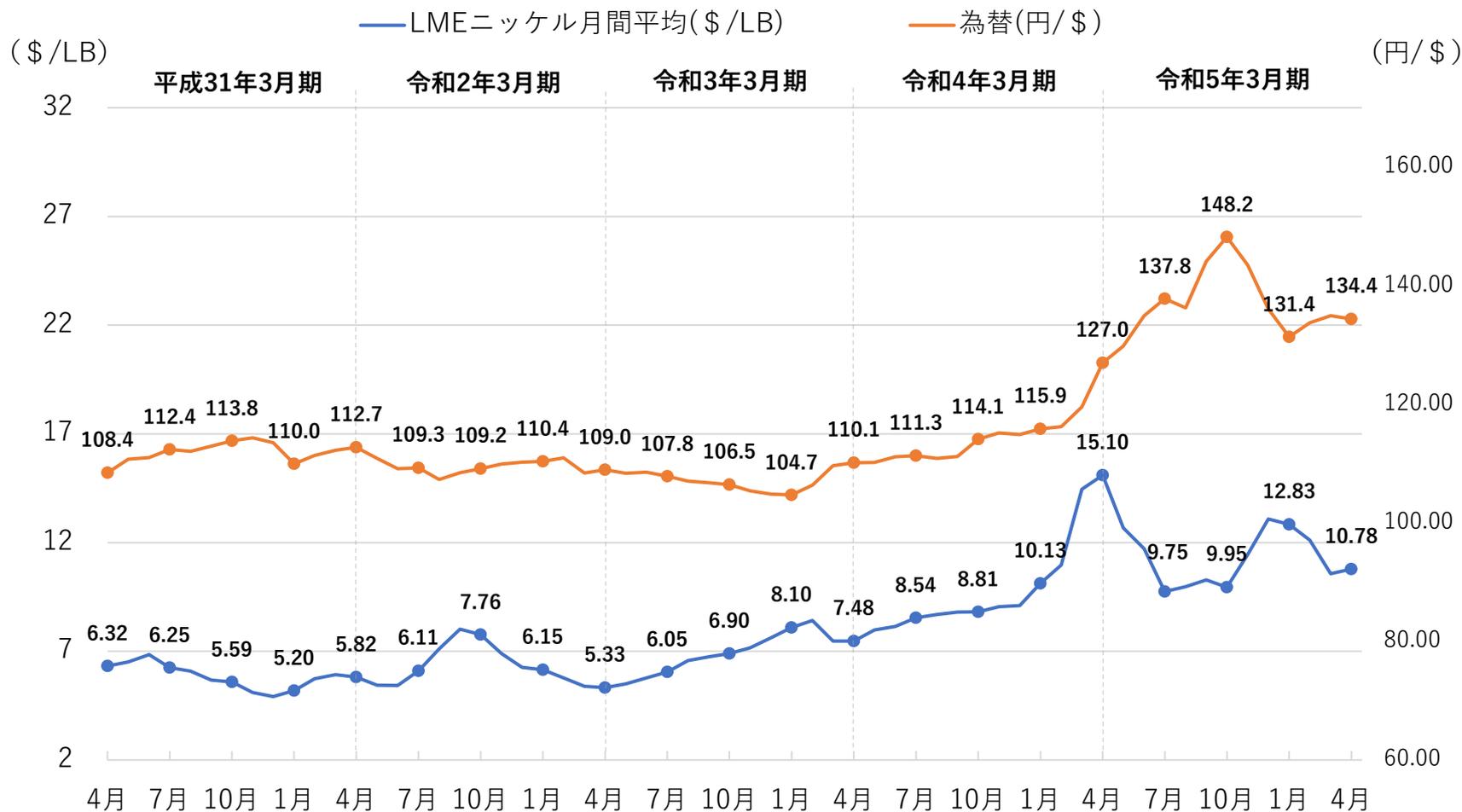


※令和3年3月期、令和5年3月期は自社株買いなし

目次

1. 令和5年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	13
3. 令和6年3月期 連結業績予想	21
4. 株主還元	27
<u>5. その他参考資料</u>	<u>29</u>

LMEニッケル価格、為替の推移



MORY

今後とも一層のご理解とご支援を
賜りますようお願い申し上げます

モリ工業株式会社

本資料は投資家の参考に資するため、モリ工業株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、本資料作成時点で予測可能な情報に基づく当社の経営陣の判断に基づいております。したがって、これらの将来に関する記述には、様々なリスクや不確実性があります。よって、その完全性を保証するものではなく、様々な要因の変化で実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。